

ストーブ火災から身を守るには？

住宅用火災警報器は、全ての居室、台所、階段に設置しましょう！

住宅用火災警報器により火災の拡大を防いだ火災事例

バスマットを電気ストーブにかけておいたが、何らかの原因でストーブのスイッチが入り、火災となりました。住宅用火災警報器の鳴動により、火災を発見し、119番通報と消火器による初期消火を実施。火災の拡大を防いだ。



寝具類やエプロン、カーテンなどは、防災品にしましょう！

防災品の寝具類を使っていれば防げたかもしれない火災事例

女性（60代）がベッドの近くで使用していた電気ストーブに、布団等の可燃物が接触し火災となりました。この火災で、住宅は全焼し、女性は命を落としました。



(防災製品貼付のラベル)

ストーブ火災を防ぐポイント

- ◆ つけたまま寝ない
- ◆ 周りに物を置かない
- ◆ 布団やカーテン等の近くに置かない
- ◆ ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさない
- ◆ 使用中の給油は絶対にしない



問合せ先 東京消防庁〇〇消防署〇〇課 電話番号〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

平成29年10月発行

STOP! 住宅防火シリーズ③

火災から命を守ろう

STOP! ストーブ火災

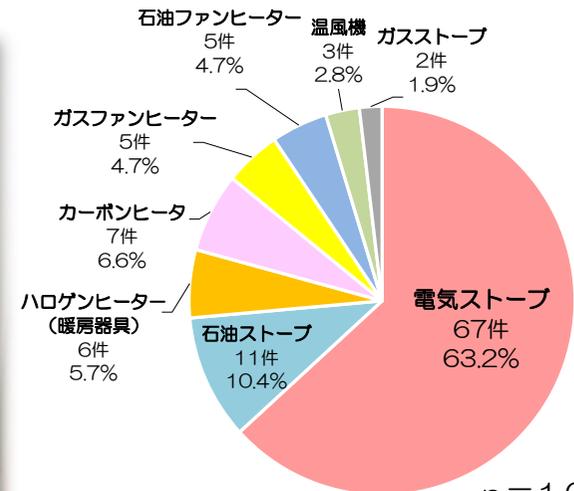
東京消防庁

あらゆる器具で発生するストーブ火災

平成28年において東京消防庁管内では、ストーブを出火原因とする住宅火災が106件発生しており、電気ストーブ、石油ストーブ、カーボンヒーター等、様々な器具が原因で火災が起きています。特に電気ストーブによる火災は、6割以上と高い割合を占めています。



電気ストーブに洗濯物が接触し
焼損した状況



n=106

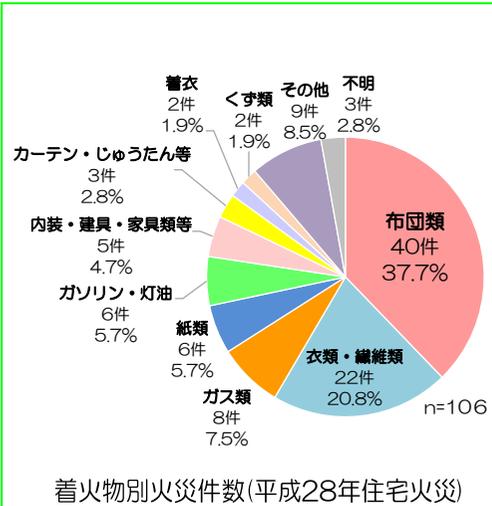
出火原因ストーブの内訳

(平成28年住宅火災)



ストーブによる火災の発生状況は次のページをご覧ください。

ストーブの周りに物を置かない

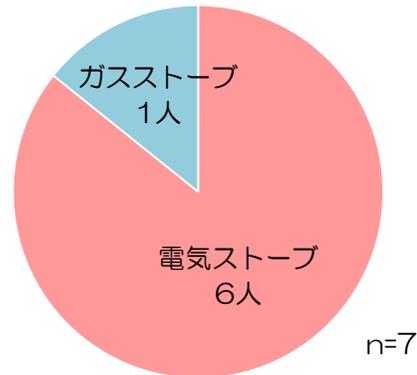


ストーブの周りに布団や衣類などの可燃物を置かないことで多くの火災を防ぐことができます！

油断していませんか？

電気ストーブは手軽で安全？

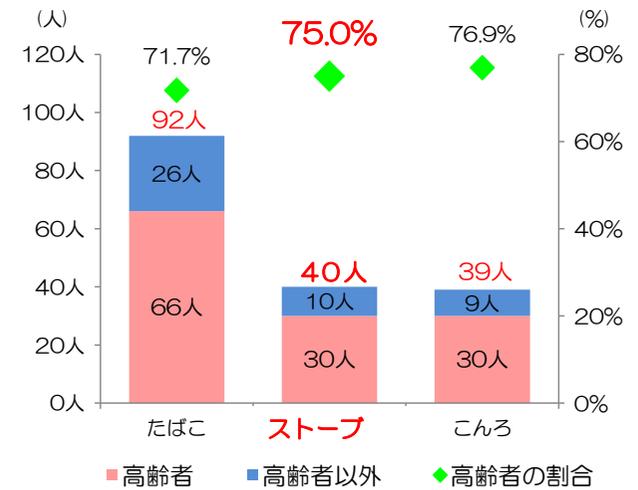
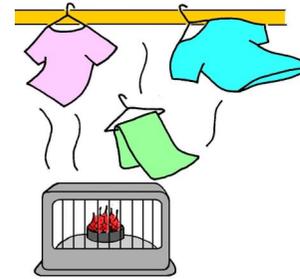
ストーブ火災の出火原因うち
火災件数・死者数ともに
最も多い出火原因が、
電気ストーブです。



ストーブ火災による死者発生状況(平成28年住宅火災)

死者の多くが高齢者

ストーブ火災による死者は、**高齢者が75%近く**を占めており、こんろに次いで高い割合となっています

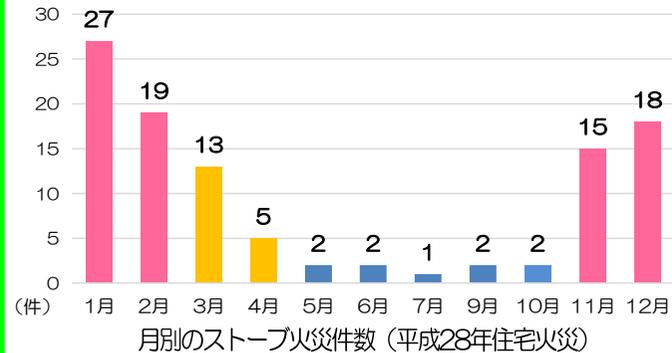


主な出火原因別死者数及び死者に占める

高齢者の割合(平成24年～平成28年住宅火災)

ストーブの火災は、11月から2月の寒い時期を中心に発生しています。

また、暖かくなってくる3月や4月にも多く発生していることから注意が必要です。



電気ストーブ火災を防ぐポイント！

- ◆ 燃えやすい物を近くに置かない
- ◆ つけたまま外出、就寝しない
- ◆ 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
- ◆ 電源プラグやコンセントの清掃・点検をする